

教育DX推進プロジェクト事業

1. 事業概要

本県の県立高等学校においては、日本語を母語としない生徒への日本語の授業や専門性の高い授業（例 芸術、理科、専門学科の各科目等）等、生徒の学びのニーズが多様化しています。加えて不登校生徒等、多様な事情を抱える生徒の学びの保障が課題となっています。一方で、教員の業務が多忙化している現状や教員数の少ない小規模校で専門性の高い授業の開設が難しくなっているという現状があるとともに、多様な他者との協働的な学びの実現が求められています。

このような諸課題に対応するために ICT 機器の機能を活用して学校間で授業を共有・補完し、生徒の学びの選択肢を維持、増やすことで個別最適な学びの実現と学校の枠を越えた協働的な学びの実現を図ることを目指しています。また、AI ドリルや採点支援システムを導入し、生徒の理解度に応じた個別最適な学習支援を行い、学力の向上を図っています。

2. 具体的な事業内容

①遠隔授業の配信

- ・日本語指導や専門性の高い授業等を必要とする生徒へ、専門の教員がいる学校から授業配信。
- ・小規模校等が連携し、授業を相互に配信。

②採点支援システムの導入（令和5年度のみ）

- ・定期考査等の採点を、システムを活用して実施。
- ・得られたデータを基に生徒のつまづきを見える化し、その対策を効果的に実施。

③AI ドリルの導入

- ・AI ドリルを用いた小テストの習熟度別の演習・課題の実施。

3. デジタル田園都市国家構想を活用した事業の推進

本事業は、内閣府のデジタル田園都市国家構想（外部サイトへリンク）交付金（デジタル実装タイプ TYPE1）を活用して、事業を推進しました。

事業概要 【教育DX推進プロジェクト事業】

実施地域	宮城県	事業費	11,200千円
実施主体	宮城県	人口	2,259,413人
事業概要	ICTを活用して複数の学校間で授業を共有・補完し、生徒の学びの選択肢を増やすことで、進路実現に向けた生徒の多様なニーズに対応した授業を提供し、学校の枠を超えた協働的な学びを実現するとともに、不登校生徒等多様な事情を抱える生徒の学びを保障する。また、学習支援ツール等を活用して効果的かつ効率的な生徒の個別最適な学びの推進と学力の向上を図る。		
具体サービス	【遠隔授業配信】 - 日本語指導や専門性の高い授業等を必要とする生徒へ、専門の教員がいる学校から授業を配信 - 小規模校等が連携し授業を相互配信 【採点支援システム】 - 定期考査等の自動採点 - 生徒のつまづきの見える化と対策を効果的に実施 【AIドリル】 - AIドリルを用いた小テストの習熟度別の演習・課題		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①日本語を母語としない生徒や不登校生徒など事情を抱える生徒の単位修得科目数 ②採点支援システムの分析結果を活用した指導回数 ③AIドリルでの生徒一人当たりの年間学習時間	【アウトカム指標（成果指標）】 ①遠隔授業に対する満足度 ②授業理解度及び授業満足度の向上 ③みやぎ学力状況調査(国語・数学・英語)の平均点（学校の平均点と全県の平均点の差を利用）	